



(F) 人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を持った技術姿勢を身に付けること	F-1 各国の言語を学びながら、それぞれの国の文化、価値観などに触れる	(a)	(f)	・独語Ⅰ ・独語Ⅱ、中国語、国語Ⅱ、英語Ⅱのいずれか1科目	・独語Ⅰおよび、独語Ⅱ・中国語・国語Ⅱ・英語Ⅱのいずれか1つの達成度により評価する。	独語Ⅰ (◎)(3)	独語Ⅱ (◎)(1)(*2) 中国語 (◎)(1)(*2) 国語Ⅱ (◎)(1)(*2) 英語Ⅱ (◎)(1)(*2)				
	F-2 社会の成立に不可欠な諸条件について基礎的知識を習得する。これにより、自分の人生の意義を探り、価値観の異なる他者との共存のありかたを考える	(a)	(b)	・起業化と社会 ・法学、経済学、哲学、社会学のいずれか1科目	・起業化と社会の達成度および法学・経済学・哲学・社会学のいずれか1つの達成度により評価する	(1)左記の全てを満たすこと 法学 (◎)(2)(*1) 経済学 (◎)(2)(*1) 哲学 (◎)(2)(*1) 社会学 (◎)(2)(*1)		起業化と社会 (◎)(2) 技術者倫理 (◎)(2) インターシップ実習1~4 (○)(1,2,3,4)(*9) プロジェクト実習 (○)(2)(*9)			
	F-3 スポーツを通して広く教養を身につけ、社会性・協調性・チームワーク力を身につける	(a)	(h)	・保健体育	・保健体育の達成度により評価する。	保健・体育 (◎)(2)	保健・体育 (◎)(1)				
	F-4 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する	(b)		・技術者倫理	・技術者倫理の達成度により評価する			技術者倫理 (◎)(2)			

\*) 「TOEICスコア400点相当」とは以下のいずれかに該当すること。  
 i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること。  
 ii) 実用英語検定試験準2級に合格すること。  
 iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)  
 iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること。

	必修	選択	記号
本科	本科必修	本科選択	◎: 学習・教育目標の達成に必要な科目 ○: 学習・教育目標に関わりの深い科目
専攻科	専攻科必修	専門基礎選択 電子通信系選択 情報制御系選択	無印: 学習・教育目標に関係するが、修得は指定されない科目

選択科目の指定	
*1(社会科学系) 法学、経済、哲学、社会学から1科目修得	*5(情報技術) 情報工学基礎論、数値計算論から2単位以上修得
*2(語学系) 独語Ⅱ、中国語、英語Ⅱ、国語Ⅱから1科目修得	*6(応用技術) 画像情報処理工学、数理・OR工学、アルゴリズム工学から2単位以上修得
*3(本科選択科目) 指定なし	*7,*8(専門選択科目) *7から6単位以上、*8から12単位以上修得(6単位までは他専攻から修得可能)
*4(自然科学系) 物理数学、離散数学、応用物理学から2単位以上修得	*9(インターシップ実習関係) インターシップ実習1~4または、プロジェクト実習より1単位以上修得



(F) 人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を持った技術姿勢を身に付けること	F-1 各国の言語を学びながら、それぞれの国の文化、価値観などに触れる	(a)	(f)	・独語Ⅰ ・独語Ⅱ、中国語、国語Ⅱ、英語Ⅱのいずれか1科目	・独語Ⅰおよび、独語Ⅱ・中国語・国語Ⅱ・英語Ⅱのいずれか1つの達成度により評価する。	独語Ⅰ (◎)(3)	独語Ⅱ (◎)(1)(*2) 中国語 (◎)(1)(*2) 国語Ⅱ (◎)(1)(*2) 英語Ⅱ (◎)(1)(*2)						
	F-2 社会の成立に不可欠な諸条件について基礎的知識を習得する。これにより、自分の人生の意義を探り、価値観の異なる他者との共存のありかたを考える	(a)	(b)	・起業化と社会 ・法学、経済学、哲学、社会学のいずれか1科目	・起業化と社会の達成度および法学・経済学・哲学・社会学のいずれか1つの達成度により評価する	(1)左記の全てを満たすこと	法学 (◎)(2)(*1) 経済学 (◎)(2)(*1) 哲学 (◎)(2)(*1) 社会学 (◎)(2)(*1)		起業化と社会 (◎)(2) 技術者倫理 (◎)(2)	インターシップ実習1~4 (○)(1,2,3,4)(*9) プロジェクト実習 (○)(2)(*9)			
	F-3 スポーツを通して広く教養を身につけ、社会性・協調性・チームワーク力を身につける	(a)	(h)	・保健体育	・保健体育の達成度により評価する。		保健・体育 (◎)(2)	保健・体育 (◎)(1)					
	F-4 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する	(b)		・技術者倫理	・技術者倫理の達成度により評価する				技術者倫理 (◎)(2)				

\*) 「TOEICスコア400点相当」とは以下のいずれかに該当すること。  
 i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること。  
 ii) 実用英語検定試験2級に合格すること。  
 iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)  
 iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること。

	必修	選択	記号
本科	本科必修	本科選択	◎: 学習・教育目標の達成に必要な科目 ○: 学習・教育目標に関わりの深い科目
専攻科	専攻科必修	専門基礎選択 電子通信系選択 情報制御系選択	無印: 学習・教育目標に関係するが、修得は指定されない科目

選択科目の指定	
*1(社会科学系) 法学、経済、哲学、社会学から1科目修得	*5(情報技術) 情報工学基礎論、数値計算論から2単位以上修得
*2(語学系) 独語Ⅱ、中国語、英語Ⅱ、国語Ⅱから1科目修得	*6(応用技術) 画像情報処理工学、数理・OR工学、アルゴリズム工学から2単位以上修得
*3(本科選択科目) 指定なし	*7,*8(専門選択科目) *7から6単位以上、*8から12単位以上修得(6単位までは他専攻から修得可能)
*4(自然科学系) 物理数学、離散数学、応用物理学から2単位以上修得	*9(インターシップ実習関係) インターシップ実習1~4または、プロジェクト実習より1単位以上修得

付録4-1 学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ（電子制御工学科+専攻科）

本コースの学習・教育目標	JABEE教育目標との対応	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	総合評価	科目名							
					電子制御工学科(平成15年度以後の入学)		電子情報システム工学専攻(平成22年度以後の入学)					
					本科4年	本科5年	専攻科1年		専攻科2年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期					
(A)日本語および英語のコミュニケーション能力	◎ ○	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	(1)左記を全て満たすこと (2)TOEICスコア400相当以上であること	国語Ⅰ(◎)(1)		システム工学特別研究(◎)(10)					
					英語Ⅰ(◎)(2)	英語Ⅰ(◎)(2)	技術表現特論(◎)(2)		コミュニケーション英語Ⅰ(◎)(2)			
							システム工学特別研究(◎)(10)		技術英語(◎)(2)			
(B)コンピュータの基本的技術および工学への応用技術	◎ ○	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	(1)左記を全て満たすこと (2)大学評価・学位授与機構の試験に合格し、学位(学士)を取得すること	計算機工学(◎)(2)	ソフトウェア工学(1)						
					オペレーティングシステム(◎)(2)	オブジェクト指向プログラム(1)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		情報工学基礎論(○)(2)(*5)	数値計算論(○)(2)(*5)		
(C)電子情報系技術の基礎知識・能力	◎ ○	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	(1)左記を全て満たすこと (2)大学評価・学位授与機構の試験に合格し、学位(学士)を取得すること	電子制御工学実験(3)	電子制御工学実験(3)						
					プログラム言語特論(1)	マイクロコンピュータ特論(1)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		
					ハードウェア設計論(1)	メディア工学(1)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		
(D)電子情報系技術の一分野において専門技術に関する知識・能力	◎ ○	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	(1)左記を全て満たすこと (2)大学評価・学位授与機構の試験に合格し、学位(学士)を取得すること	応用数学(◎)(2)	応用数学(◎)(2)	物理数学(○)(2)(*4)	離散数学(○)(2)(*4)				
					応用物理学(◎)(2)		画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		
					電気磁気学(◎)(2)	電子制御回路学(1)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		
(E)創造性、チャレンジ性を発揮できる素養	◎ ○	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	(1)左記を全て満たすこと (2)大学評価・学位授与機構の試験に合格し、学位(学士)を取得すること	電気回路学(◎)(2)	電子制御回路学(1)						
					制御工学(2)	ディジタルIC回路(1)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		
					電子回路学(◎)(2)	電子制御工学演習(1)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		
(F)人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を持った技術姿勢を身に付けること	◎ ○	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	(1)左記を全て満たすこと (2)大学評価・学位授与機構の試験に合格し、学位(学士)を取得すること	電子制御工学実験(◎)(3)	電子制御工学実験(◎)(3)	システム工学特別研究(◎)(10)					
					工業力学(2)	メカトロニクス工学(◎)(2)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		
					計測工学(◎)(2)	情報通信工学(1)	画像情報処理工学(○)(2)(*6)		数値・OR工学(○)(2)(*6)	アルゴリズム工学(○)(2)(*6)		

F-3 スポーツを通して広く教養を身につけ、社会性・協働性・チームワーク力を身につける	(a)	(h)	・保健体育	・保健体育の達成度により評価する。	保健・体育(◎)(2)	保健・体育(◎)(1)			
F-4 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する	(b)		・技術者倫理	・技術者倫理の達成度により評価する			技術者倫理(◎)(2)		

\* 「TOEICスコア400点相当」とは以下のいずれかに該当すること。  
 i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること。  
 ii) 実用英語検定試験準2級に合格すること。  
 iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)  
 iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること。

	必修	選択	記号
本科	本科必修	本科選択	◎: 学習・教育目標の達成に必要な科目
専攻科	専攻科必修	専門基礎選択 電子通信系選択 情報制御系選択	○: 学習・教育目標に関わりの深い科目 無印: 学習・教育目標に関係するが、修得は指定されない科目

選択科目の指定	
*1(社会科学系) 法学、経済、哲学、社会学から1科目修得	*5(情報技術) 情報工学基礎論、数値計算論から2単位以上修得
*2(語学系) 独語Ⅱ、中国語、英語Ⅱ、国語Ⅱから1科目修得	*6(応用技術) 画像情報処理工学、数理・OR工学、アルゴリズム工学から2単位以上修得
*3(本科選択科目) 指定なし	*7,*8(専門選択科目) *7から6単位以上、*8から12単位以上修得(6単位までは他専攻から修得可能)
*4(自然科学系) 物理数学、離散数学、応用物理学から2単位以上修得	*9(インターンシップ実習関係) インターンシップ実習1~4または、プロジェクト実習より1単位以上修得

付録4-1 学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ (情報工学科+専攻科)

本コースの学習・教育目標	JABEE教育目標との対応	達成度の評価に関係する科目	達成度の評価法	総合評価	科目名							
					情報工学科 (平成15年度以後の入学者)		電子情報システム工学専攻 (平成22年度以後の入学者)					
					本科4年	本科5年	専攻科1年		専攻科2年			
		前期	後期	前期	後期							
(A)日本語および英語のコミュニケーション能力	(f)	A-1 技術者として、分かりやすいきちんとした日本語での表現、技術報告書の作成、プレゼンテーションなどができる	・国語 I の達成度で評価する。 ・国語 I システム工学特別研究	(1)左記を全て満たすこと (2)TOEICスコア400点相当以上であること	国語 I (◎)(1)				システム工学特別研究 (◎)(10)	技術表現特論 (◎)(2)		
		A-2 英語による基本的な表現 (英文読解、英作文、英会話) ができる	・英語 I コミュニケーション英語	・英語 I とコミュニケーション英語の達成度で評価する。 ・特別研究の概要を英文で記述できることと評価する。 ・電子情報コミュニケーション技術または制御情報コミュニケーション技術の達成度で評価する	英語 I (◎)(2)	英語 I (◎)(2)			コミュニケーション英語 (◎)(2)			
		A-3 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身につける	・特別研究 ・技術英語							システム工学特別研究 (◎)(10)	技術英語 (◎)(2)	
(B)コンピュータの基本的技術および工学への応用技術	(c)	B-1 コンピュータのハードウェアに関する基本的な働きを理解し、OS やプログラミング言語に関する基本的な処理ができる	・計算機工学 ・オペレーティングシステム I	・計算機工学およびオペレーティングシステム I の達成度で評価する	計算機工学 (◎)(2)	オペレーティングシステム I (◎)(2)						
		B-2 工学的な課題についてコンピュータを応用して解決することができる	・情報工学基礎論または数値計算論のいずれか1科目 ・画像情報処理工学、数理・OR 工学、アルゴリズム工学の3科目からいずれか1科目	・選択した2科目の達成度で評価する	画像情報処理工学 (◎)(2)(*6)	情報工学基礎論 (◎)(2)(*5)	数値計算論 (◎)(2)(*5)	数理・OR 工学 (◎)(2)(*6)	アルゴリズム工学 (◎)(2)(*6)			
(C)電子・情報系技術の基礎知識・能力	(c)	C-1 数学、物理などの基礎的な知識・能力を身につけ、それを工学の分野で利用できる	・応用数学 ・応用物理学 ・物理数学、離散数学、応用物理科学のいずれか1科目	・応用数学、応用物理学の達成度で評価する。また、物理数学・離散数学・応用物理科学のいずれか1つの達成度で評価する	応用数学 (◎)(4)	応用物理学 (◎)(2)	物理数学 (◎)(2)(*4)	離散数学 (◎)(2)(*4)	応用物理科学 (◎)(2)(*4)			
		C-2 電気回路、電子回路、電磁気学などの電子・情報系専門基礎科目の知識・能力を身につける	・電磁気学 ・電気回路学 ・電子回路学	・電磁気学、電気回路学、電子回路学の達成度で評価する	電磁気学 (◎)(2)	コンピュータアーキテクチャ (◎)(2)						
		C-3 基本的な測定機器の取り扱い、実験技術を身につける	・情報工学実験	・情報工学実験の達成度で評価する	情報工学実験 (◎)(3)	情報工学実験 (◎)(3)						
(D)電子・情報系技術の一分野において専門技術に関する知識・能力	(d)-(a)	D-1 通信技術・電子技術・制御技術・情報技術の中核から1分野の専門応用技術を身につける	・本科の必修科目4科目(8単位)専攻科の専門基礎(6単位以上)電子通信系、情報制御系選択科目から12単位以上	・各科目の達成度で評価する	情報ネットワーク論 II (◎)(2)	情報理論 (◎)(2)	計測と制御 (◎)(2)(*7)	デジタル信号処理 (◎)(2)(*7)	デジタル電子回路学 (◎)(2)(*7)	光情報処理工学 (◎)(2)(*8)	通信符号理論 (◎)(2)(*8)	
		D-2 人の行動・感性を工学に生かす技術を身につける	・感性情報工学 ・ヒューマンインターフェース技術	・各科目の達成度で評価する	マルチメディア活用論 (2)	感性情報工学 (◎)(2)	ヒューマンインターフェース技術 (◎)(2)	人間生体工学 (2)(*8)				
		D-3 与えられた課題について、問題解決の過程を通じてデザイン能力を身につける	・情報工学実験 ・システム工学特別研究	・電子制御工学実験において、回路の製作あるいはソフトウェアの製作により評価する。 ・特別研究の達成度によって評価する	情報工学実験 (◎)(3)	情報工学実験 (◎)(3)	特別研究 I, II (1)			システム工学特別研究 (◎)(10)		
(E)創造性、チャレンジ性を発揮できる素養	(d)-(b)	E-1 研究計画の立案、研究の進め方、結果の整理・考察など一連の技術開発手順を学習し、創造性を身につける	・創造性工学 ・システム工学特別研究	・創造性工学の達成度で評価する。 ・特別研究の研究計画書または中間発表および特別研究			創造性工学 (◎)(2)		システム工学特別研究 (◎)(10)			
		E-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点の解決など、技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身につける	・システム工学特別研究	・創成技術デザイン実習および特別研究 (研究発表、報告書) で評価する		卒業研究 (◎)(7)	創成技術デザイン実習 (◎)(2)		システム工学特別研究 (◎)(10)			
		E-3 継続的に学習する習慣を身につける	・特別研究以外の全科目 ・システム工学特別研究	・宿題や課題の学習状況、レポートの締切など、日常的な学習状況を各科目の達成度により評価する。 ・特別研究での研究記録に	英語 I (◎)(2)	英語 I (◎)(2)			システム工学特別研究 (◎)(10)			
		E-4 企業実習、校内での実習を通じ、与えられた課題に対する実践的な能力を身につける	・インターンシップ実習1~4またはプロジェクト実習のいずれか1科目	・インターンシップ実習1~4またはプロジェクト実習のいずれか1つの達成度によって評価する					インターンシップ実習1~4 (◎)(1,2,3,4)(*9)	プロジェクト実習 (◎)(2)(*9)	研究技術インターン(1)	特別実習セミナー(1~2)
(F)人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を培った技術姿勢を身につけること	(a)	F-1 各理の言語を学びながら、それぞれの国の文化、価値観などに触れる	・独語 I ・独語 II、中国語、国語 II、英語 II のいずれか1科目	・独語 I および、独語 II・中国語・国語 II・英語 II のいずれか1つの達成度により評価する	独語 I (◎)(3)	独語 II (◎)(1)(*2)	中国語 (◎)(1)(*2)	国語 II (◎)(1)(*2)	英語 II (◎)(1)(*2)			
		F-2 社会の成立に不可欠な諸条件について基礎的な知識を習得する。これにより、自分の人生の意義を探り、価値観の異なる他者との共存のありかたを考える	・起業化と社会 ・法学、経済学、哲学、社会学のいずれか1科目	・起業化と社会の達成度および法学・経済学・哲学・社会学のいずれか1つの達成度により評価する	法学 (◎)(2)(*1)	経済学 (◎)(2)(*1)	哲学 (◎)(2)(*1)	社会学 (◎)(2)(*1)	起業化と社会 (◎)(2)	技術者倫理 (◎)(2)	インターンシップ実習1~4 (◎)(1,2,3,4)(*9)	プロジェクト実習 (◎)(2)(*9)
		F-3 スポーツを通して広く教養を身につけ、社会性・協調性・チームワ	・保健体育	・保健体育の達成度により評価する	保健・体育 (◎)(2)	保健・体育 (◎)(1)						

一カカを身につける			ET 107 7 90						
F-4 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する	(b)	技術者倫理	技術者倫理の達成度により評価する			技術者倫理(◎)(2)			

\*1) 「TOEICスコア400点相当」とは以下のいずれかに該当すること。  
 i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること。  
 ii) 実用英語検定試験準2級に合格すること。  
 iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)  
 iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること。

	必修	選択	記号
本科	本科必修	本科選択	◎: 学習・教育目標の達成に必要な科目
専攻科	専攻科必修	専門基礎選択 電子通信系選択 情報制御系選択	○: 学習・教育目標に関わりの深い科目  無印: 学習・教育目標に関係するが、修得は指定されない科目

選択科目の指定	
*1(社会科学系) 法学、経済、哲学、社会学から1科目修得	*5(情報技術) 情報工学基礎論、数値計算論から2単位以上修得
*2(語学系) 独語Ⅱ、中国語、英語Ⅱ、国語Ⅱから1科目修得	*6(応用技術) 画像情報処理工学、数値・OR工学、アルゴリズム工学から2単位以上修得
*3(本科選択科目) 指定なし	*7,*8(専門選択科目) *7から6単位以上、*8から12単位以上修得(6単位までは他専攻から修得可能)
*4(自然科学系) 物理数学、離散数学、応用物理学から2単位以上修得	*9(インターンシップ実習関係) インターンシップ実習1~4または、プロジェクト実習より1単位以上修得

付録5 全学科共通選択科目と学習・教育目標の関係（本科平成15年度以降入学者）

本校の学習・教育目標		JABEE教育目標との対応		科目名（記号は主たる担当学科（T:情報通信工学科, E:電子工学科, C:電子制御工学科, I:情報工学科）, 数値は単位数を示す。） また、(T:O)は、情報通信工学科におけるJABEE対応コースの選択必修科目（少なくともいずれか1科目を修得）を示す。			
		◎	○	本科4年		本科5年	
(A)日本語および英語のコミュニケーション能力	A-1 技術者として、分かりやすいきちんとした日本語での表現、技術報告書の作成、プレゼンテーションなどができる	(f)					
	A-2 英語による基本的な表現（英文読解、英作文、英会話）ができる	(f)					
	A-3 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身につける	(f)		技術英語(C:1)			
(B)コンピュータの基本的技術および工学への応用技術	B-1 コンピュータのハードウェアに関する基本的な働きを理解し、OSやプログラミング言語に関する基礎的な処理ができる	(c)		応用プログラム I (T:1)(T:O) プログラム言語特論 (C:1) ハードウェア設計論 (C:1) 数値計算論 I (I:1) 数値計算論 II (I:1) プログラミング特論 I (I:1) プログラミング特論 II (I:1)	通信プロトコル工学 (T:1)(T:O) ソフトウェア工学 (C:1) オブジェクト指向プログラム(C:1) マイクロコンピュータ特論(C:1) オペレーティングシステム II (I:1) 情報理論 I (E:1) 情報理論 II (E:1)		
	B-2 工学的な課題についてコンピュータを応用して解決することができる	(c)	(d)-(c)	応用プログラム II (T:1)	映像メディア工学 II (T:1) メディア工学(C:1) 画像処理工学(C:1) 知識情報処理(C:1)		
(C)電子・情報系技術の基礎知識・能力	C-1 数学、物理などの基礎的な知識・能力を身につけ、それを工学の分野で利用できる	(c)	(d)-(a)	通信基礎演習(T:1)			
	C-2 電気回路、電子回路、電気磁気学などの電子・情報系専門基礎科目の知識・能力を身につける	(d)-(a)		伝送回路学(T:1) 電子制御工学演習 (C:1)	材料基礎工学(T:1) 電子制御回路学 (C:1) デジタルIC回路 (C:1) 電子材料 I (E:1) 電子材料 II (E:1)		
	C-3 基本的な測定機器の取り扱い、実験技術を身につける	(d)-(a)	(h)		電子計測 I (E:1) 電子計測 II (E:1)		
(D)電子・情報系技術の一分野において専門技術に関する知識・能力	D-1 通信技術・電子技術・制御技術・情報技術などの中から1分野の専門応用技術を身につける	(d)-(c)		電子工学演習 I (E:1) 電子工学演習 II (E:1) 電子工学演習 III (E:1) 電子工学演習 IV (E:1) デジタル信号処理概論 I (I:1) デジタル信号処理概論 II (I:1)	コミュニケーション装置工学(T:1) 交換ネットワーク工学(T:1) センシング工学(T:1) 光デバイス工学(T:1) フィルタ設計論(C:1) 信号処理 I (E:1) 信号処理 II (E:1) デジタル信号処理概論III(C:1) 情報通信工学(C:1) オプトエレクトロニクス I (E:1) オプトエレクトロニクス II (E:1) 情報通信工学 I (I:1) 情報通信工学 II (I:1) 電気機器学 I (E:1) 電気機器学 II (E:1) コンパイラ構成論 I (I:1) コンパイラ構成論 II (I:1) 通信方式 I (E:1) 通信方式 II (E:1) 情報数学 I (I:1) 情報数学 II (I:1) 電波伝送学 I (E:1) 電波伝送学 II (E:1) 情報ネットワーク特論 I (I:1) 情報ネットワーク特論 II (I:1) 信頼性工学 I (E:1) 信頼性工学 II (E:1) データ構造 I (I:1) データ構造 II (I:1)	波動情報工学(T:1) 制御技術工学(T:1)	
	D-2 人の行動・感性を工学に生かす技術を身につける	(d)-(c)	(a)		福祉・教育工学(T:1) 認知応用工学(T:1)		
	D-3 与えられた課題について、問題解決の過程を通じてデザイン能力を身につける	(e), (h)			特別研究 I (I:1) 特別研究 II (I:1)		
(E)創造性、チャレンジ性を発揮できる素養	E-1 研究計画の立案、研究の進め方、結果の整理・考察など一連の技術開発手順を学習し、創造性を身につける	(d)-(b), (e)					
	E-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点の解決など、技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身につける	(d)-(c)					
	E-3 継続的に学習する習慣を身につける	(g)					
	E-4 企業実習、校内での実習を通じ、与えられた課題に対する実践的な能力を身につける	(d)-(d)					
(F)人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を持った技術姿勢を身につけること	F-1 各国の言語を学びながら、それぞれの国の文化、価値観などに触れる	(a)	(f)				
	F-2 社会の成立に不可欠な諸条件について基礎知識を習得する。これにより、自分の人生の意義を探り、価値観の異なる他者との共存のありかたを考える	(a)	(b)				
	F-3 スポーツを通して広く教養を身につけ、社会性・協調性・チームワーク力を身につける	(a)	(h)				
	F-4 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的問題について理解する	(b)		環境技術工学(T:1) 電気通信法規(T:1)			